

いいだ人形劇フェスタ 2023

まっけたよ! 人形たちと一緒にの夏!!



今年五月から新型コロナウイルスが五類に分類され、人形劇フェスタ二〇二三が四年ぶりに本格開催できる見通しとなりました。四月から実行委員会を組織し、各分館の委員さんを含め、本館並びに分館公演の開催に向けて、協議を重ねてきました。久しぶりの本格開催という事で、近年の実績が無く、不安と期待が入り混じる中、「再出発」と考え取り組んできました。

そして八月三日の本館公演を皮切りに、分館公演合わせて全八公演が竜丘地区で開催されました。会場には多くの方が観劇に訪れて頂き、子ども達の歓声に溢れました。この雰囲気を見

竜丘公演のスタートは、ベルシヨールのミましゅ&キー開始早々、ラクルな演奏×クラウン定番のエスカレーター等のパントマイムで大人も子どもも子ども達のハートを鷲掴み。そして、ひらりと現れた、黄色い布が人形になり優雅に舞い、白い手袋が二人の手で四人の人間になり短時間の中で深い一生を表現し、静かに「オプジェクト*パーティー」にいざなわれたのも一転、二人が陽気に膨らませた、赤い風船がKeeiのお腹から生まれ、長い風船がKeeiの胸の二個の風船の目の下で輪を作ると口になり、千の風になつてを堂々と歌い、ただで笑いの渦に山姥から突然騒々しく衣装替えをすると、「銀のベル」のハンド「こっち」と皆夢中で応援していました。

四日午後は人形劇団おまけのおまけ。三匹のやぎはお馴染みのガラガラドン。子どもたちは結果を知っているのだから安心して観劇。最後に三匹がどんなに太ったかを白い風船を膨らませて表現する場面が子ども達には予想外で盛り上がりました。本

今年五月から新型コロナウイルスが五類に分類され、人形劇フェスタ二〇二三が四年ぶりに本格開催できる見通しとなりました。四月から実行委員会を組織し、各分館の委員さんを含め、本館並びに分館公演の開催に向けて、協議を重ねてきました。久しぶりの本格開催という事で、近年の実績が無く、不安と期待が入り混じる中、「再出発」と考え取り組んできました。

今年五月から新型コロナウイルスが五類に分類され、人形劇フェスタ二〇二三が四年ぶりに本格開催できる見通しとなりました。四月から実行委員会を組織し、各分館の委員さんを含め、本館並びに分館公演の開催に向けて、協議を重ねてきました。久しぶりの本格開催という事で、近年の実績が無く、不安と期待が入り混じる中、「再出発」と考え取り組んできました。

今年五月から新型コロナウイルスが五類に分類され、人形劇フェスタ二〇二三が四年ぶりに本格開催できる見通しとなりました。四月から実行委員会を組織し、各分館の委員さんを含め、本館並びに分館公演の開催に向けて、協議を重ねてきました。久しぶりの本格開催という事で、近年の実績が無く、不安と期待が入り混じる中、「再出発」と考え取り組んできました。

今年五月から新型コロナウイルスが五類に分類され、人形劇フェスタ二〇二三が四年ぶりに本格開催できる見通しとなりました。四月から実行委員会を組織し、各分館の委員さんを含め、本館並びに分館公演の開催に向けて、協議を重ねてきました。久しぶりの本格開催という事で、近年の実績が無く、不安と期待が入り混じる中、「再出発」と考え取り組んできました。

今年五月から新型コロナウイルスが五類に分類され、人形劇フェスタ二〇二三が四年ぶりに本格開催できる見通しとなりました。四月から実行委員会を組織し、各分館の委員さんを含め、本館並びに分館公演の開催に向けて、協議を重ねてきました。久しぶりの本格開催という事で、近年の実績が無く、不安と期待が入り混じる中、「再出発」と考え取り組んできました。

コロナ禍で2020、2022が中止2021は長野県民限定開催だった人形劇フェスタが、四年ぶりに通常開催となり、八月三日から四日間、竜丘にも子ども達の笑顔と笑い声が溢れました。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

| | |
|-----------|--------|
| 人口 | 6,598人 |
| 男子 | 3,192人 |
| 女子 | 3,406人 |
| 世帯数 | 2,629戸 |
| (5年7月末現在) | |

子ども達の笑顔あふれる楽しい公演が、駄科区民センターで行われました。愛知県の企画制作・楽大夢「なにかよし」の二人の楽しいひと時が始まりました。最初は「つくってあそぼう」で、袋や糸巻きで手作りのおもちゃを作り、折りたんだ紙に絵を描いて変化させたり、それを面白おかしく遊びの世界を演じていました。糸巻きで作ったロケットは会場に来ていた子ども達も一緒になって遊びました。続いてイソップ寓話「北風と太陽」を二人

長野原では「人形劇場だぶだぶ」の公演が行われ、猛暑の中、六十名を超える親子の来場がありました。夫婦で活動するベテラン劇団による創作「さるじぞう」と「魔法女になりたがりやの小さなネズミ」の二本が上演されました。

上川路分館
夏の八月五日正午過ぎ、蝉の鳴き声が聞こえる開善寺近くの公民館で上川路公演は開催されました。路上では汗をかく安全委員の方がおられ、誘導によりたどり着きました。

桐林分館
桐林分館は布袋戯人形劇団・著微による手遣い人形劇「三国志・張飛のスイカ裁判」を上演し、親子など約九十名が訪れました。

時又分館
青々とした竹に短冊をしつらえた会場には静岡県から「茶間屋シヨゴ」さんがやってきました。

文化委員長
伊原喜春
今年五月から新型コロナウイルスが五類に分類され、人形劇フェスタ二〇二三が四年ぶりに本格開催できる見通しとなりました。四月から実行委員会を組織し、各分館の委員さんを含め、本館並びに分館公演の開催に向けて、協議を重ねてきました。久しぶりの本格開催という事で、近年の実績が無く、不安と期待が入り混じる中、「再出発」と考え取り組んできました。

上川路分館
夏の八月五日正午過ぎ、蝉の鳴き声が聞こえる開善寺近くの公民館で上川路公演は開催されました。路上では汗をかく安全委員の方がおられ、誘導によりたどり着きました。

桐林分館
桐林分館は布袋戯人形劇団・著微による手遣い人形劇「三国志・張飛のスイカ裁判」を上演し、親子など約九十名が訪れました。

時又分館
青々とした竹に短冊をしつらえた会場には静岡県から「茶間屋シヨゴ」さんがやってきました。

時又分館
青々とした竹に短冊をしつらえた会場には静岡県から「茶間屋シヨゴ」さんがやってきました。

講演後の交流会では劇人さんから人形制作にまつわる裏話や人形劇の街「飯田」への熱い思いを伺い、楽しい時間を過ごしました。今と昔の子どもの掛け声、笑い声が時又ふれあいセンターに広がりました。

竜丘が誇れるもの ～竜丘古墳まつり～ 五年ぶり開催



六月四日に行われた第十五回竜丘古墳まつりは五年ぶりの開催となった。塚原二子塚を会場に参加者二百五十名以上の参加により盛大に行われた。

竜丘古墳まつりは、予想 さんから、竜丘の古墳に 超える参加者により五年 いての貴重な説明を受けま 前とはほぼ同じ内容で実施す ることができ、盛りあがり ました。

開会式のオープニングイ ベントでは鈴岡太鼓の雄大 な演奏や花法師の会による 花の植え付けが行われ、竜 丘古墳の会会長の小林正春 となりました。ウォーク

体験・イベントでは勾玉 づくり、富本銭づくり、火 おこし体験、古墳食堂、古 墳ウォークラリークイズが 行われ、小中学生を中心に 竜丘の古代を感じる体験 となりました。ウォーク ラリークイズに は多くの小学生 が参加し、近く の古墳の見学を しながらクイズ に挑戦しました。 また、勾玉づく りでは小学生と 参加した保護者 も一緒に、一つ 一心に石を磨く 姿も見られ、火 おこし体験では 火が付くたびに 拍手が起こりま した。

閉会式では羽

生公民館長の「竜丘が誇れ るものは？」という問いか けに、参加者が一同に「こ ぶん!!」と答えて祭りは終 了しました。

実行委員会では五年振り の開催ということで、過去 の写真を確認したり、祭り に参加経験がある委員の記 憶を掘り起こしたりしなが ら、催しの内容や、テント の配置、準備品等について 確認を行い準備が済まし た。無事まつりが行われ ばとっています。



竜丘の古墳と県立歴史館特別展

竜丘古墳の会 会長 小林正春

飯田市には約五百基の古 墳がありそのうち百四十余 が竜丘地区内にあります。 基が竜丘地区内にあります。 飯田の古墳築造の背景は、 古墳時代に朝鮮半島から伝 えられた馬生産の拠点と なったことにあります。馬 生産とヤマト王権中枢への 馬と兵の供給によって前方 後円墳造りが認められまし た。またヤマト王権の国家 形成にも大きく寄与したと 考えられます。

そんな飯田古墳群の中核 として、

飯伊大会 桐林班出場

今年度は消防団による消防 技術大会が四年ぶりに開催 されました。コロナ禍で消 防団も活動が制限されてい ました。

飯田市消防団第七分 団(竜丘分団)では桐林 班が、飯田市大会のポン プ車操法の部を三位の成 績で、飯伊大会に出場と なりました。飯伊大会は 七月二日に飯田運動公園 多目的グラウンドで開催さ れ、梅雨の合間の炎天下 の中、桐林班は精一杯の 操法を披露しました。

消防団は団員不足など



ふるさとコンサート in 竜丘 弦楽四重奏 ～なついろカルテット～

七月十七日、弦楽四重奏 『なついろカルテット』を 迎えて、竜丘公民館で開催

竜丘コーラス による♪秋の野 の深みのあるア カペラの混声合 唱でスタート。 続いて、竜丘小 brassバンド& 『なついろカル テット』の合同 演奏で♪オーラ リー♪きらきら ぼし。皆、楽し そうで、観客も 楽しく聴きまし た。

大盛り上がり 記念撮影。ますます音楽が 大好きになったようでした。

一般の観客の皆さんも、 生のコンサートの素敵な贈 り物に、心が満たされた明 るい笑顔で会場を後にされ ました。

竜丘小 brassバンド 四年振りの演奏

コロナの影響で長らく活 動を休止していたbrassバ ンド部ですが、約四年ぶり にふるさとコンサートに参 加できました。特に六年生 は、二年間まったく活動で きずに当日を迎え、それで も頑張ってきた思い が実り、本当に嬉しそうで した。

ホールでの演奏は、いつ もよりずっと音の響きがよ かったことに、感謝の 気持ちでいっぱいです。

(竜丘小 渡辺先生)



今年度は消防団による消防 技術大会が四年ぶりに開催 されました。コロナ禍で消 防団も活動が制限されてい ました。

飯田市消防団第七分 団(竜丘分団)では桐林 班が、飯田市大会のポン プ車操法の部を三位の成 績で、飯伊大会に出場と なりました。飯伊大会は 七月二日に飯田運動公園 多目的グラウンドで開催さ れ、梅雨の合間の炎天下 の中、桐林班は精一杯の 操法を披露しました。

消防団は団員不足など

夏季スポーツフェスティバル ペタンク・クワッド分館対抗交流戦

気軽に誰もが参加でき、 スポーツに親しむことので きる機会を趣旨とする夏季 スポーツ大会が、五月二十 一日午前中に竜丘小学校グ ラウンドで四年ぶりに開催 することができました。

競技は激しい動きのない 「ペタンク」と「クワッド」の 二種目に分かれ、それぞれ のチームが分館対抗で競い 合いました。

ペタンクは年齢制限がほ ぼないためか、筆者がただ

を倒し たチー ムが勝 利とな ります。 クワッド を倒し た人は 気持ちよ さそうにチームで 盛り上がり、倒されたチー ムは悔しそうにしていた印 象が残ります。

二種目とも上川路分館が 優勝しました。途中から気 温も上昇し暑い中でしたが、 老若男女・上手下手関係な く白熱したゲームが繰り広 げられました。



時又灯ろう流し・長野原納涼夏祭り

台風の接近により八月 十五日に予定されていた 駄科のすずおかサマー フェスは中止となりまし た。長野原納涼夏祭りは 一日延期され、時又灯ろ う流しと同日の十六日に 実施されました。

